

第46回 北信越国民スポーツ大会
2025.8.22^{THU}▶24^{SUN}



銃剣道競技プログラム



主催 (公財) 日本スポーツ協会 富山県 長野県 福井県 新潟県 石川県
富山県教育委員会 長野県教育委員会 福井県教育委員会 新潟県教育委員会 石川県教育委員会
(公財) 富山県スポーツ協会 (公財) 長野県スポーツ協会 (公財) 福井県スポーツ協会 (公財) 新潟県スポーツ協会 (公財) 石川県スポーツ協会
共催 会場地市町 会場地市町教育委員会 **後援** スポーツ庁 **主管** (公財) 富山県スポーツ協会 富山県各競技団体



この大会は、競輪の補助を受けて開催します。

開 催 の 趣 旨

国民スポーツ大会の趣旨に則り、その予選会として北信越地域の人々に広くスポーツを普及し、スポーツ精神の高揚を図り、健康増進と体力向上を目指し、併せて5県の親睦と交流を深めるとともに、地方のスポーツ振興及び文化の発展に寄与することを目的とする。

スポーツを行う者の心得（「日本スポーツ協会スポーツ憲章」抜粋）

- スポーツを愛し、楽しむために、自発的に行う。
- 競技規則はもとより、自らの属する団体の規則を遵守し、フェアプレーの精神を尊重する。
- 常に相手を尊重しつつ、自己の最善を尽くす。
- アンチ・ドーピングに関する規定を遵守する。

目 次

若い力	・・・・・・・・1	式典次第・諸会議日程	・・・・・・・・8
富山県民の歌	・・・・・・・・1	競技日程	・・・・・・・・9
大会長あいさつ	・・・・・・・・2	監督・選手名簿	・・・・・・・・9
富山県議会議長祝辞	・・・・・・・・3	競技上の規程及び試合方法	・・・・・・10
富山県銃剣道連盟会長あいさつ	・・・・・・・・4	銃剣道競技の見方	・・・・・・11
富山市長歓迎のことば	・・・・・・・・5	成績一覧表	・・・・・・14
競技会役員	・・・・・・・・6	宿舎一覧・医療機関	・・・・・・16
競技役員	・・・・・・・・7	競技会本部・大会本部	・・・・・・16

若い力

日本体育協会選定

佐伯孝夫 作詞

高田信一 作曲

一、若い力と感激に

燃えよ若人 胸を張れ

歓喜あふれる ユニフォーム

肩にひとひら 花が散る

花も輝け 希望にみちて

競え青春 強き者

二、薫る英気と 純情に

瞳あかるい スポーツマン

僕のように 君のもの

挙る凱歌に 虹が立つ

友情身にしむ 熱こそいのち

競え青春 強き者

富山県民の歌

辻本 俊夫 作詞
牧野 良二 作曲

一、仰ぎ見る 立山連峰

朝空に 輝くところ

躍進の 理想かざして

高らかに 生産の歌

声そろえ 声そろえ

共にうたわん 共にうたわん

ああ われら われら富山 富山県民

二、かもめ飛ぶ 有磯の海に

新潮の 花咲くところ

平和呼ぶ 祈こめて

親しき 世紀の文化

相むつみ 相むつみ

共に築かん 共に築かん

ああ われら われら富山 富山県民

三、豊かなる みのりの山野

川清く 流るるところ

すこやかに 大地をふみて

火と燃ゆる 希望を胸に

手を取りて 手を取りて

共に進まん 共に進まん

ああ われら われら富山 富山県民

あ い さ つ



第 46 回北信越国民スポーツ大会 会長

公益財団法人富山県スポーツ協会 会長

富山県知事 **新 田 八 朗**

このたび、第 46 回北信越国民スポーツ大会を富山県において盛大に開催できますことは、大変ありがたく、心からお礼申し上げます。

また、北信越各県の選手・監督並びに役員の皆様には、ようこそ富山県へお越しくださいました。県民を代表して心から歓迎申し上げます。

本県では、今年 4 月に「富山県スポーツ推進プラン」を改定し、県民一人ひとりのウェルビーイング向上のため、それぞれの目的や好みに応じてスポーツに親しみ、楽しむことができる環境づくりや、本県選手が全国や世界の檜舞台で活躍できる競技力向上のための施策を積極的に推進しています。

こうしたなか、北信越地域最大のスポーツの祭典である本大会が開催され、各県代表の精鋭の皆様が、郷土の誇りを胸に第 79 回国民スポーツ大会「わた SHIGA 輝く国スポ」の出場権獲得をかけた熱戦が繰り広げられますことは、競技力向上はもとより、本県のスポーツ振興を図るうえで、誠に意義深いものがあります。

選手の皆様には、日頃の練習の成果を存分に発揮されますとともに、お互いの交流を深められ、心に残るすばらしい大会となりますようお祈り申し上げます。

また、県外からお越しの皆様には、このたびのご来県を機に、美しく豊かな自然や多彩な歴史・文化、「寿司といえば、富山」と自負する新鮮な海の幸・山の幸など、本県の魅力の数々を大いに実感していただき、「富山ファン」となっていただければ幸いです。

結びに、本大会の開催に力を尽くされました会場地の市町をはじめ、関係の皆様にも深く敬意を表しますとともに、大会のご成功と選手の皆様のご活躍を心からお祈り申し上げます。

祝 辞



富山県議会議長 武 田 慎 一

北信越地方最大のスポーツの祭典である第 46 回北信越国民スポーツ大会が、ここ富山県において盛大に開催されるにあたり、富山県議会を代表いたしまして、選手・監督並びに役員の皆様方のご来県を心から歓迎申し上げます。

本大会は、第 79 回国民スポーツ大会「わた SHIGA 輝く国スポ」への出場権をかけた大会であるとともに、北信越地域のスポーツの振興と発展に大きく寄与してきた伝統ある大会であります。選手の皆様方の競技に全力で取り組まれる姿や熱戦の数々は、県民に大きな感動と希望を与えるものと確信しております。

選手の皆様方におかれましては、日頃の練習の成果を遺憾なく発揮され、大いにご活躍されるとともに、各県から参加された選手・役員の皆様方と交流を深められ、実り多き大会となりますようご期待申し上げます。

また、県外からお越しの皆様方には、この機会に本県が誇る美しい自然、新鮮な食材、個性豊かな伝統文化など、多彩な魅力にふれていただき、本県に対するご関心をお寄せいただく契機となれば幸いに存じます。

結びに、本大会の開催にご尽力されました関係の皆様方に深く敬意を表しますとともに、本大会のご成功と、選手の皆様方のご健闘、そしてご来県の皆様方のご多幸を心から祈念いたしまして、お祝いの言葉といたします。

あ い さ つ



富山県銃剣道連盟

会長 濱 谷 隆 平

第46回北信越国民スポーツ大会銃剣道競技会が、本県において北信越各県の役員・選手の皆様方をお迎えし、盛大に開催されることは誠に喜びに絶えないところであり、心から歓迎を申し上げます。

併せて、関係各位の常日頃より銃剣道の拡充・発展と青少年の健全性の育成・普及に、献身的にご尽力をいただいておりますことに、心から敬意を表し感謝申し上げます。

銃剣道は、日本古来の伝統的古武道の槍術を源流とし、明治初年ドイツ・フランスの銃剣術を導入、昭和31年に近代スポーツとして競技武道化し、正式化されて約150年の歴史を育んで参りました。逞しい闘魂と厳しい鍛錬によって、規律を守り、礼節を尊び、信義を重んずる等社会人として必要な道徳性を高め、心身の鍛錬を図り、人間形成を目指す武道であり、かつスポーツであります。

郷土の榮譽を担う選手の皆さんは、日頃鍛えた「心」及び「力と技」を最大限に発揮され、滋賀県高島市での第79回国民スポーツ大会の出場権を目指して健闘されますことを祈念申し上げます。

銃剣道は、変革の時期にあり、令和7年度から、国際連盟支部を発足し、世界に羽ばたかんと体制を整備、全日本女子選手権大会を発足し、女性の活躍の飛躍的發展を目指し、平成24年4月から開始された中学校の武道必修授業に、銃剣道の採用の拡大をはかり、新時代の日本武道の發展を目指しております。

選手の皆様、役員の皆様、見る方々に感動を与える「正しさ」「強さ」「美しさ」「明るさ」「逞しさ」を体現した素晴らしい試合を展開していただき、銃剣道への関心を高め、自信を持ってスポーツマン精神の高揚と銃剣道の振興と武道文化の發展に寄与できるよう、実り多い大会になることを願うものであります。

最後に本大会の開催にあたり、多大なご尽力を頂きました関係各位に対し深く感謝申し上げますとともに、役員・選手皆様方のご活躍とご健闘を心からお祈り申し上げ、挨拶といたします。

歓迎のことば



富山市長 藤井 裕久

このたび、第46回北信越国民スポーツ大会が本市において盛大に開催され、北信越各地から多くの選手並びに関係の皆様方をお迎えできましたことは誠に喜ばしく、富山市民を代表して心より歓迎申し上げます。

本大会は、今年9月に滋賀県で開催される「わた SHIGA 輝く国スポ（第79回国民スポーツ大会）」への出場権獲得を懸けた大変重要な大会であります。

北信越各県を代表する選手が一堂に会し、高いレベルで真剣に競い合う姿は、出場される選手のみならず、スポーツに取り組む子どもや愛好家の方にも大きな刺激を与え、競技力の向上に寄与するものであり、本市が取り組みを進める競技スポーツの推進につながる誠に意義深いものであると考えております。

選手の皆様におかれましては、本大会を通して、これまでの練習の成果と自分自身の持てる力を最大限に発揮されますとともに、選手相互の親睦を深められることを期待しております。

また、このたびのご来訪を機に、ニューヨーク・タイムズ紙の「2025年に行くべき52か所」に選ばれた、本市の美しい自然や文化、食といった多様な魅力に十分触れていただき、本市を存分にご堪能いただければ幸いです。

結びに、本大会の開催にご尽力されました関係の皆様方に深く敬意を表しますとともに、本大会のご成功と、皆様方のご健勝・ご活躍を心より祈念いたしまして、歓迎のことばといたします。

競技会役員

名誉会長	藤井 裕久			
会 長	濱谷 隆平			
副会長	宮坂 政行	稲田 朋美	熊倉 光生	佐々木 紀
顧 問	高田 重信	宮口 克志	鎌田 泰史	品川 祐一郎
	中川 忠昭	光澤 智樹	宮内 雅也	栗谷 健治
参 与	松本 浩明	杉谷 要	葉室 圓	
委員長	濱谷 隆平			
副委員長	井畠 大	松田 千眞男	三田村 則昭	北村 義宏
	高柳 陽一			
委 員	坂林 正敏	桐溪 俊樹	宮田 文春	古野 哲生
	堀井 義信	中保 和明	宮田 明久	渡邊 誠
	草田 規晶	増田 宇秀	長谷川 元	堀口 寛之

競 技 役 員

競 技 委 員 長	濱 谷 隆 平			
競 技 副 委 員 長	宮 田 文 春 山 田 正 雄	若 林 幹 伸	小 寺 修 司	栗 原 基
総 務 委 員	渡 邊 誠	石 丸 正		
審 判 長	井 畠 大			
審 判 員	松 田 千 眞 男 横 濱 忍	北 村 義 宏	中 村 定 市	福 海 外 吉
会 場 係	廣 瀬 敬 久 浦 上 創	宮 村 康 大 今 井 勇 一	折 本 竜 飛 秋 田 辰 宇	西 森 勇 士
記 録 ・ 報 道	神 能 貴 典	林 貴 也		
得 点 計 時	坂 田 靖 也	南 勝 稔		
救 護	堀 井 俊 平	曾 倉 佳 三		
補 助 員	安 井 脩	笠 原 達 史	緒 方 玲 央	

式典次第

【開 始 式】

期日 令和 7年 8月24日（日）

時間 10時00分

場所 富山市山田総合体育センター

次 第

- 1 選手団整列
- 2 開始通告
- 3 競技開始宣言
- 4 国旗に礼
- 5 競技会長挨拶
- 6 審判長注意
- 7 選手宣誓
- 8 競技開始

【表 彰 式】

期日 令和 7年 8月24日（日）

時間 試合終了後

場所 富山市山田総合体育センター

次 第

- 1 選手団整列
- 2 開始通告
- 3 成績発表
- 4 表彰状授与
- 5 講評
- 6 閉会の挨拶
- 7 国旗に礼
- 8 競技終了宣言

諸 会 議 日 程

会 議 名	期 日	時 間	場 所	電 話 番 号
監督・審判会議	8月24日（日）	9時00分	富山市山田総合体育センター	076-457-2557

競 技 日 程

開始式	令和 7年 8月24日(日)	10時00分
表彰式	令和 7年 8月24日(日)	試合終了後

競技組み合わせ表

5チームリーグ戦

試合開始 10:30 試合終了 11:00

試合順序	県別	1 新潟	2 長野	3 福井	4 石川	5 富山	勝点 (勝者数/勝本数)	順 位
①1-5	1 新潟							
②2-3								
③1-4	2 長野							
④2-5								
⑤3-4	3 福井							
⑥1-2								
⑦3-5	4 石川							
⑧2-4								
⑨1-3	5 富山							
⑩4-5								
・組み合わせは、抽選とし番号を付ける。 ・代表戦は、銃剣道競技規程による。								

国民スポーツ大会 北信越ブロック代表数 1

選手・監督名簿

県名	監督	先鋒	中堅	大将
新潟県	滝沢 元気	大桃 紘都	滝沢 柊士	小池 健太
長野県	松田 千真男	林田 啓汰	渡邊 結仁	青木 悠晟
福井県	増田 宇秀	水野 詢万	水野 友翔	水野 恵寿
石川県				
富山県				

競技上の規定及び試合方法

1. 1チーム3名（先鋒、中堅、大将）とし、試合方法はリーグ戦とする。
2. 勝負はすべて3本勝負とし試合時間は5分、延長2分、勝負が決しない場合は判定による。
3. 順位の判定は勝ち数による。勝ち数が同数の場合は勝者数による。勝者数でも順位が決定しない場合は勝ち本数による。勝ち本数も同数の場合は代表決定戦による。代表決定戦はチームごとフリーとする。
4. 代表戦は一本勝負とし試合時間は無制限で勝負が決まるまで行う。
5. 審判方法
3人制とし銃剣道試合審判規則及び細則による。

銃剣道競技の見方

1. 銃剣道競技とは

「銃剣道の由来」

銃剣道は、わが国の伝統的古武道の一つである槍（やり）の突き技を源流とした武道です。史実によると、上野の東京博物館所蔵の宝蔵院流槍術秘事「寛政 10 年 4 月、早川長左衛門手記」を主体に、その他の槍術流派では佐分利流・疋田流・貫流等が研究対象になり、その秘術を余す処なく取り入れるとともに、槍術や剣道の理合い等を合わせて研究に研究を重ね、日本人の体格や性格に最も適した純日本武道として、明治 25 年（1892 年）集大成されたものです。

銃剣道は、突き技を中心とした単純な動作ですから会得するまでは容易ですが、奥義を極めようとするには懐（ふところ）の深い武道です。

「国民スポーツとしての銃剣道」

社団法人 全日本銃剣道連盟は、文部科学省及び（財）日本スポーツ協会の傘下にあって、武道としての心身の鍛錬を通じて気力・体力を育成する体育的效果と競技力を高めるスポーツ的效果並びに健全な精神的資質（誠実・礼節・信義・勇気・質実剛健・克己心）を養い、国民スポーツとして品位高尚な人間形成を図っています。

連盟は「やって楽しい・見て楽しい銃剣道」を目指し、洗練された品格のある技の駆使と、公正・的確な審判により「判りやすく、スピーディーで、美しい」試合を具現することを求めています。

「美しい」とは、常に相手に敬意を払い、礼に始まり礼に終わる礼儀正しい態度、勝って驕らず負けて悪びれない爽やかな態度、理合いに叶った突き技を駆使し正面から勝負に挑む正々堂々たる態度であり、躰・マナーを欠いた粗野で荒々しい試合は厳に戒め、常に明るく、強く、逞しいものを求めています。

「国民体育大会の参加」

昭和 31 年全日本銃剣道連盟が結成され、青少年への健全なスポーツ活動への普及に努め、小・中学校・高校生及び大学生のクラブ活動、成年の社会貢献活動等に普及発展し、昭和 48 年に日本体育協会の加盟団体となり、昭和 55 年の国民体育大会（栃木）から、国体の正式種目となり、広く国民スポーツとして発展してきております。

2. 銃剣道競技の見方は

銃剣道は木銃を用いて相手の「左胸部」または「喉」を突いて勝敗を競う競技です。

突き技のみで打ち技は無く、相手の木銃を払う以外に木銃を薙ぐことはありません。

試合で一本となる「有効突き」とは、充実した氣勢・正しい姿勢で有効突き部位を剣筋正しく突き、木銃を引き抜いた後に残心（油断のないこと）のある気・剣・体の一致した技でなければなりません。

3. 服装・用具

防具には、面・胴・肩・垂・小手・裏ぶとん（胴ぶとん）・指袋があります。裏ぶとんは、肩と胴の下に装着する衝撃吸収用の用具です。

白または紺の銃剣道衣（稽古着・袴）を着用し、その上に防具を装着します。右腕には称号・段位を表す識別章を着けます。

木銃は、樫の木などを用いた、長さ 166cm、重さ 1,100g 以上のものを使用します。持つ位置が決めており、それ以外の場所を持つと反則になります。

防具



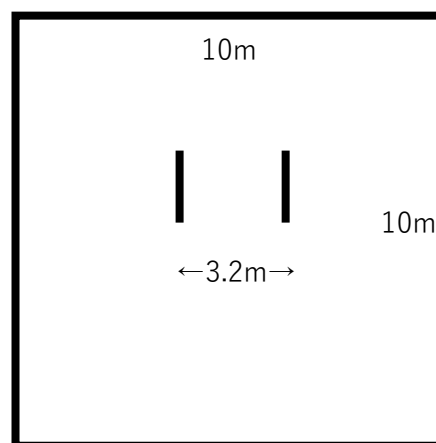
木銃



4. 試合場

板張りの床に縦・横 10m の正方形の区画線を設け試合場とします。試合中に区画外に出てしまった場合は、場外という反則になります。

中心点から 1.6m の場所にそれぞれ「試合開始線」を表示します。



5. 勝敗の決定

試合時間は 5 分 3 本勝負であり、勝敗は、3 人の審判が赤・白の審判旗を挙げることで「有効突き」を表示します。2 人以上の審判が旗を挙げた場合に 1 本となり、2 本先取した方が勝ちとなります。ただし、試合時間が終わったときにどちらかが 1 本を取っていた場合、1 本を取っていた方が勝ちとなります。（1 本勝ち）

試合時間内に勝負が決しない場合、2 分間の延長戦を行い 1 本先取した方が勝ちとなります。それでも勝負が決しない場合は審判 3 名による判定を行い勝敗を決します。

6. 1本になる有効突き部位とは

左胸部を相手の左手の上方から突く「上胴（うわどう）」、左胸部を相手の左手の下から突く「下胴（したどう）」、喉部を突く「喉（のど）」、左胸を隠した小手を突く「小手（こて）」、体勢を崩した相手に対して左胸を狙って真っすぐ肩を突く「肩（かた）」があります。それらの部位を正しい気・剣・体の一致した突きで突いてはじめて 1 本になります。

7. 反則

試合を公正におこなうため禁止事項があり、これを犯したときには「反則」とし、1 試合に反則 2 回を行うと相手に 1 本が与えられます。

反則事項は、両足とも場外に出る「場外行為」、相手を不当に場外に押し出す「不当な押し出し」、相手に手をかけたり足をかけたりする「手がけ・足掛け」、木銃で相手の体を打つ動作「危険行為」、相手の木銃を握る「木銃握り」、木銃を落とす「木銃落とし」、木銃の規定外の場所を握る「不正握り」、試合者が接近し 10 秒以上離れようとしなない「接近長し」などがあります。

銃剣道修行の指標 銃剣道の修行は、たゆまない努力によって心身を鍛練陶冶し、規律を守り、礼節を尊び、信義を重んずる等、社会人として必要な道徳性を高め、もって 正しく、 明るく、 強く、 逞しい、 人間形成を目指して精進するものである。 公益社団法人 全日本銃剣道連盟	銃剣道の本旨 第1 銃剣道は、わが国の伝統的な武術である槍術の「突き技」を基調として、明治初期に創成され発展した武道である。 第2 銃剣道は、武士道の美風である、「誠実」「礼節」「勇気」「質実剛健」及び「克己心」等を徳目として錬磨し、社会に有為な人間の育成を目的とするものである。 第3 銃剣道は、「突く」「抜く」「打つ」「払う」「かわす」「押す」及び「足さばき」等の身体活動を通して、健康で豊かな社会生活を営むための、国民の健康・体力づくりに寄与するものである。 第4 銃剣道は、木銃を用いて相手の喉・胴等への「突き技」で競い合う競技であり、攻勢的に果敢なところに特色がある。また、技の構成は単純で習得容易であるが、真髄を極めるには奥深いものがある。 第5 銃剣道は、稽古と試合を通じて、「知」「情」「意」のバランスのとれた心身の発達を図り、社会への適応力を育成し、心肺機能・スピード・反応力及び持久力を高めることができる。 公益社団法人 全日本銃剣道連盟
---	--

北信越国民体育大会(銃剣道)成績一覧表

回・年 度	優 勝		
	県 名	監 督	選 手
第1回昭和55年度	新潟	6段 佐々木 正彦	(初)関 峯雪 ・ (初)高橋 隆司 (初)坂井 英昭
第2回昭和56年度	新潟	6段 佐々木 正彦	(初)関 峯雪 ・ (初)金子 敦 (初)菅原 辰広
第3回昭和57年度	石川	5段 元雄 佳広	(2)元雄 善和 ・ (2)杉本 実 (2)村井 雅彦
第4回昭和58年度	石川	5段 元雄 佳広	(2)元雄 善和 ・ (2)杉本 実 (2)村井 雅彦
第5回昭和59年度	新潟	6段 佐々木 正彦	(初)豊崎 堅一 ・ (初)角田 清志 (初)高野 重幸
第6回昭和60年度	新潟	6段 佐々木 正彦	(2)角田 清志 ・ (2)安彦 勉 (2)吉田 猛
第7回昭和61年度	石川	7段 橋本 博	(初)小野 憲幸 ・ (初)朝倉 健史 (初)小橋 実
第8回昭和62年度	新潟	7段 佐々木 正彦	(2)込山 勝時 ・ (2)東城 清 (2)五十嵐正志
第9回昭和63年度	新潟	7段 佐々木 正彦	(2)込山 勝時 ・ (2)東城 清 (2)五十嵐正志
第10回平成元年度	長野	6段 井口 喜八	(2)手塚 佳徳 ・ (2)百瀬 典昭 (2)熊谷 敦徳
第11回平成2年度	新潟	7段 佐々木 正彦	(初)丸山 育男 ・ (初)新保 正春 (2)中村 克行
第12回平成3年度	新潟	7段 佐々木 正彦	(初)丸山 育男 ・ (初)新保 正春 (初)野崎 和也
第13回平成4年度	石川	無段 橋本 浩照	(3)森元 誠 ・ (2)中村 友和 (3)長瀬 光宜
第14回平成5年度	富山	6段 斎藤 良隆	(2)坂井 剛志 ・ (2)稲塚 勝彦 (2)田中 幸一
第15回平成6年度	富山	6段 斎藤 良隆	(2)国井 稔 ・ (初)神能 貴典 (2)林 朋紀
第16回平成7年度	富山	6段 斎藤 良隆	(初)広瀬 敬久 ・ (2)国井 稔 (2)林 朋紀
第17回平成8年度	富山	7段 斎藤 良隆	(2)小西 孝典 ・ (3)神能 貴典 (3)広瀬 敬久
第18回平成9年度	福井	8段 桑原 義喜	(初)内田 一也 ・ (初)木藤 洋介 (初)谷口 裕規
第19回平成10年度	富山	7段 深江 安雄	(2)鞍馬 克宏 ・ (初)鞍馬 孝之 (初)小塚 久雄
第20回平成11年度	富山	7段 深江 安雄	(初)中保 竜也 ・ (3)鞍馬 克宏 (2)小塚 久雄
第21回平成12年度	新潟	6段 長谷川 元	(2)堀江 幸喜 ・ (初)森田 幸尚 (2)原田 亮
第22回平成13年度	富山	7段 橋本 峰雄	(2)野口 昭 ・ (2)西野 義嗣 (2)北 知治
第23回平成14年度	富山	8段 富田 文春	(3)野口 昭 ・ (3)西野 義嗣 (初)明和 史恭
第24回平成15年度	新潟	7段 長谷川 元	(初)前山 敬史 ・ (2)渡邊 享介 (初)小林 大祐
第25回平成16年度	石川	8段 山田 正雄	(初)中村 史也 ・ (初)坂口 慶太 (初)古谷 圭遼

回・年 度	優 勝		
	県 名	監 督	選 手
第26回平成17年度	石川	8段 山田 正雄	(初)大川 翔平 ・ (初)坂口 慶太 (初)吉谷 圭遼
第27回平成18年度	石川	6段 小田 晃平	(初)奥野 功章 ・ (初)田實 雄大 (初)尾上 健司
第28回平成19年度	石川	7段 小田 晃平	(初)小堀 裕和 ・ (2)松木 大輔 (2)中村 栄宏
第29回平成20年度	新潟	6段 丸山 育男	(2)近藤 史章 ・ (初)児玉 恭平 (初)棒 論
第30回平成21年度	石川	7段 高柳 陽一	(初)吉田 翔 ・ (2)永井 一登 (初)正木 登
第31回平成22年度	新潟	7段 長谷川 元	(初)山田 剛弘 ・ (初)棒 論 (初)児玉 恭平
第32回平成23年度	石川	7段 高柳 陽一	(初)北村 雅之 ・ (3)渡辺 一矢 (3)佐藤 悠太
第33回平成24年度	新潟	7段 長谷川 元	(初)高井 洸太 ・ (初)大谷 竜輝 (初)渡邊 健斗
第34回平成25年度	新潟	7段 長谷川 元	(2)高井 洸太 ・ (2)渡邊 健斗 (2)大谷 竜輝
第35回平成26年度	新潟	7段 長谷川 元	(初)野口 将史 ・ (2)高橋 駿平 (2)高井 優樹
第36回平成27年度	新潟	7段 長谷川 元	(2)野口 将史 ・ (初)村上 周太郎 (初)武石 光博
第38回平成29年度	石川	7段 高柳 陽一	(3)望月 大輝 ・ (2)附田 健作 (3)松岡 克哉
第43回令和4年度	石川	8段 中村 定市	(初)中野 翔太磨 ・ (初)大橋 健留 (初)木田 雄太
第44回令和5年度	石川	8段 中村 定市	(初)中野 翔太磨 ・ (初)大橋 健留 (初)木田 雄太
第45回令和6年度	新潟	7段 滝沢 元気	(2)大桃 紘都 ・ (2)滝沢 柊士 (2)小池 健太

宿 舎 一 覧

県名	宿舎名	所在地	電話
長野県	ホテルパークイン砺波インター	砺波市太郎丸字堂島 6613-1	0763-32-8989
福井県			
新潟県			

会 場 最 寄 医 療 機 関

医療法人社団藤聖会 富山西総合病院 富山市婦中町下轡田 1019
TEL 076-461-7700

※受診の際は、事前に電話にて確認をお願いします。

競 技 会 本 部 ・ 記 録 本 部

富山市山田総合体育センター
〒930-2108 富山県富山市山田中瀬2
TEL 076-457-2557

大 会 本 部

第46回北信越国民スポーツ大会実行委員会事務局
公益財団法人富山県スポーツ協会内
〒939-8252 富山市秋ヶ島183番地
TEL : 076 - 461 - 7138
FAX : 076 - 461 - 7139